

## 第9回高崎地本運転協定期委員会開催される！

4月10日国労高崎会館内にて第9回高崎地本運転協議会定期委員会が開催されました。

15時からの開会にて、座長に高崎運輸区・井上さんを選出し議事が進められました。

冒頭挨拶に立った高崎運転協・清水議長から、

不愛用事件の解決に向けた動き、 検修の全面的な業務委託に関して、 3月ダイヤ改正と3月9・10日に起きた雪害による架線切断についての交渉経過、 今後一年間に最大の取組みとして組織拡大についての行動提起の発言を受け、特に不採用問題解決後は一気に組織拡大に全力を尽くしたいと発言がありました。



来賓として参加した東日本運転協・木立議長から、昨年は運転協交流会の準備をしていただき、成功裏に終わったことへ感謝と、現在、運転協として最大の課題となっている検修部門の外注化問題についての問題点等、現在までの取組みを含めての報告と勤務プロジェクト会議の報告、分会の活性化について取組みの強化をお願いして挨拶としました。

高崎地方本部より倉林業務部長より挨拶をいただき、10年春闘について、各業務での効率化問題、安全問題(特に死傷事故の多発について)、不採用事件に関する現在の動き、高崎地本における組織拡大の取組み等の報告を受けました。

その後、鈴木事務長より一年間の経過報告・総括と今後の方針(取組み)、決算・予算の報告・提案と続いて質問、意見を受けました。

検修外注化関係では

- ・籠原派出所では構内で偽装請負疑いの作業がある。
- ・他労組では昨年からの学習会を開いていた。提案を受けても際立った動きがない。
- ・職場では、提案後プロジェクトチームが作られ、今後の対策が話し合われている。
- ・4月を越したが、今後の動向はどうなるのか？
- ・このままでは、施策が実行された後、多くの問題が出るのではないかと。
- ・学習会等開催ことで議論も深まるのではないだろうか。

その他では

- ・高崎では他労組の影響が非常に強い地方で組織拡大も容易ではない。
- ・職場には国労の主任運転士が数名いるのに教導の指定が無い、まだまだ差別感がある。
- ・平成採が多数を占めるようになってきた。中には組合の干渉に不満を感じている人もいる。

等々、様々な意見が出されました。

方針案と予算案を全員で確認して、清水議長からまとめとして

これからも、検修外注化対策は全力で取組んでいくこと、5月に行われる「勤務プロジェクト学習会」に参加体制をとっていき、12月ダイヤ改正のうわさも出ているなかで、3月のダイヤ改正の検証をしていく、要求も議論をしていきたい。昇進試験の案内が出されたが、各職場で受験者の掌握をお願いしたいと発言があり、全体の拍手で了承されました。



高崎運転協議会の三役体制(三役全員留任です)

議長 清水 輝夫(高崎運輸区)

副議長 三俣 秀史(新前橋運輸区)

竹内 博行(高崎運輸区)

事務長 鈴木 明夫(高崎車両セ籠原派出所)

今年一年よろしくお祈りします！

最後に、清水議長の団結ガンバローで終了となりました。

高崎地本役職員の皆さん、又、参加者の皆さん、大変お疲れさまでした。

また、貴重なご意見ありがとうございました。共にまた1年、力を合わせて頑張ります！